

2014年5月10日

## 遼寧省でのジャパンフェアについて

愛知県上海産業情報センター  
安田 龍

**中国・遼寧省というところのようなことを思いつくでしょうか。今回は遼寧省の瀋陽市と大連市で開催されたジャパンフェアについてレポートします。**

### 1 遼寧省について

遼寧省は中国東北3省（他に黒竜江省、吉林省）の一つで、2012年の統計データでは、面積は約14.8万平方キロメートル、人口は4,389万人、GDP総額は24,846億元、成長率は11.0%であり、日系企業が約1,400社進出しており、日本人も約7,000人が在留しています。

省都である瀋陽市は函館市とほぼ同緯度になり、面積は12,860平方キロメートル、人口は823万人になり、GDP総額は6,606億元で、成長率は10.0%、一人当たりGDPは80,480元になっています。

経済面において、省内で最も発展しているのは大連市で、地理的には仙台市とほぼ同緯度になり、面積は12,574平方キロメートル、人口は669万人になり、GDP総額は7,002億元で、成長率は10.3%、一人当たりGDPは102,216元になっています。

### 2 瀋陽日本観光物産展

2014年3月21日から3月31日まで、瀋陽市中街にある瀋陽久光百貨店において、「日本観光物産展」が開催されました。

今回の物産展会場である瀋陽久光百貨店は2013年10月にオープンし、総建築面積は約12万㎡、地上4階地下3階建になっています。地下の食品売場には、日本の食材や食料品が多く売られており、カレーハウスCOCO壺番屋もテナントとして入っています。

2013年5月末に伊勢丹瀋陽店が撤退して以来、瀋陽市で日本食材を入手することが困難な状況が続いていたそうですが、久光百貨店の出店により、再び日本食材を入手できるようになったとのことでした。

この物産展には、佐賀県、沖縄県・北海道・新潟県などが参加し、佐賀県から有田焼やごまサブレなど、沖縄から泡盛やシークォーサーなど、北海道から醤油やインスタントラーメンなど、新潟県から生活雑貨など、各地の様々な物産が販売されており、また、週末には、佐賀県の和太鼓表演も行われ、日本の魅力をPRしていました。

瀋陽久光百貨店の担当者の話によると、今後この物産展を定期的で開催し、可能であれば大連久光百貨店とも連携して、東北地方で連続したイベントとすることも検討していきたいとのことでした。



### 3 大連ジャパンプランド

2014年3月22日と23日の2日間、大連市にある万達広場において、「大連ジャパンプランド2014」が開催されました。

このイベントには、カゴメなど中国各地で事業を展開する日系企業などがブースを出展し、日本食品や製品を紹介・販売したり、また日本国政府観光局（JNTO）や日本貿易振興機構（JETRO）などもブースを出展し、日本の観光情報等のPRしていました。

さらに、浴衣の着付け体験や茶道のデモンストレーション、鹿児島県のご当地アイドル「セブンカラーズ」、熊本県のゆるキャラ「くまモン」等のステージイベントも行われ、2日間で28,000人を越える来場者があり、日本の魅力を発信していました。

浴衣の着付け体験では、日本語で感想を述べる女の子もおり、大連市での日本への関心の高さを感じました。

